

(学年) 第1学年, (教科・科目) 家庭・家庭基礎

協働学習

(単元) 消費者問題を考える

(本時のねらい)

本校は普通科と応用数理科があり, 約 98 %の生徒が大学へ進学しており卒業後は親元を離れて一人暮らしをする者も多い。家計管理は親任せにしている本校生にとって, 経済計画や消費者問題はまだ自分のこととして実感がわいていないのが現状である。高等学校学習指導要領「家庭基礎」内容(2)「生活の自立及び消費と環境」では, 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題, 消費行動における意思決定や契約の重要性, 消費者保護の仕組みについて理解するとともに生活情報を適切に収集・整理できることと示されている。そこで消費者庁作成教材「社会への扉」を活用し, 消費生活における現状と課題についてクイズ形式で主体的に考えさせ, 自立した消費者として生活情報を活用し適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費について身につけさせたいと思い設定した。

(ICT活用方法)

従来なら教科書・資料集・ワークシート・「社会への扉」の4種類の教材を机の上に広げ説明していたが, 現在どの教材を使用しているかが生徒にはわかりづらかった。ICTを活用してスライドにクイズを色分けしてわかりやすく見やすく示し, 「社会への扉」はクイズ終了後配布することにした(解答や解説があるため)。クイズは三択でスライドを見て各自が挙手により意志表示することとした。解答を示した後解説をし, それに関連した「教科書」の図をスライドに差し込んだPowerPointを作成し, 補足した。「社会への扉」と教科書をタイアップさせるため, 視覚的にわかりやすいICTが有効に活用できた。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法	備考
導入 (5分)	○生活における契約について気づく。	○生活において様々な契約を経て消費行動していることに気づかせる。	○スライドの表示を「社会への扉」と同じ色調の青とし, 注目させた。	
展開 (30分)	○「社会への扉」P.1~2のクイズQ1~12を考える。 ○未成年者取消しについて	○クイズについて各自で考え挙手で発表させる。周りの人と確認し合い, なぜその番号を選んだのか理由を述べさせる。 ○正解を電子黒板に示し各取引における特徴や消費者の状況を考えさせる。 ○未成年者としての立場を理解させ, 無条件	○①選択者は右手, ②選択者は左手, ③選択者は挙げないとし, スライドに注目させクイズ形式でスピーディな解答をさせる。 ○スライドによる正解を楽しみに見るように促し, 説明しワークシートに記入させる。	ワークシート (PowerPointでクイズだけのスライドを1枚に6スライド配置したもの) 余白に解説を書く。

	<p>知る。</p> <p>○クーリング・オフ制度について知る。</p> <p>○ネットショッピングについて考える。</p> <p>○クレジットカードについて知る。</p> <p>○製造物責任法について考える。</p> <p>○「社会への扉」を配布する。</p>	<p>の取消し制度について理解させる。</p> <p>○「クーリング・オフ」の意味を理解し、具体的な仕方や条件などを理解させる。</p> <p>○今までに経験したネットショッピングを隣の人と話し合わせ発表させる。</p> <p>○他のカードとの違いを理解させる。</p> <p>○消費者が主体的に行動することが大切であることを理解させる。</p>	<p>○クーリング・オフの説明では教科書の通知書の図をスライドに挿入し、わかりやすく説明する。</p> <p>○三者間契約の図をスライドに映し、具体的な解説をする。</p>	「社会への扉」
まとめ (15分)	○本時の学習を振り返り確認テストを行う。	○確認テストを解いた後、隣の人と答案用紙を交換し採点させる。答え合わせの際、授業を振り返りながら解説する。	○隣の人の解答を読み、強く伝えたいことにアンダーラインを引かせる。消費者庁の模範解答をスライドで提示し、授業のまとめをする。	確認テスト (○×問題と小論文) 消費者庁HPより

(授業の様子)



教材の投影方法



使用したワークシート

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

一斉授業をする場合生徒の授業への取り組み方の差が気になっていたが、ICTを活用することにより生徒の視線をスライドに集中させ表情を読み取ることができる。さらにクイズ形式により、全員の生徒の意欲関心を高めることができた。その都度解説することにより、かなり定着度が上がったと思われる。次時で消費者問題のDVDを視聴し、単元の終了とした。国民生活センターや消費生活センター等のホームページを閲覧することにより、現在問題となっている消費者トラブルを知ったり、相談する時の手立てとなるようにしたりするまとめ方もあったのではと思う。

